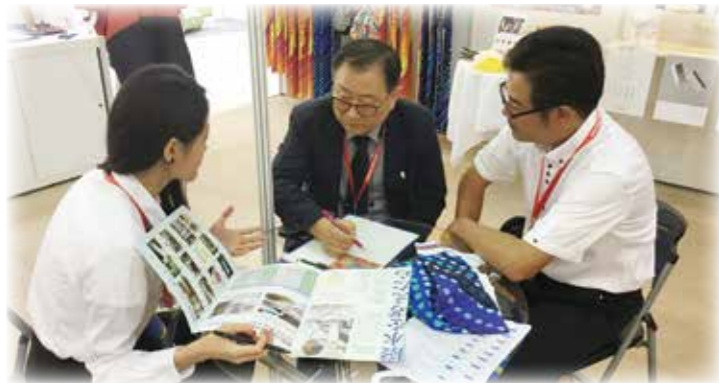


「台北テキスタイルフェア (TITAS)」^{ティタス} 出展



多数の来場者を集める桐生ブース



出展企業商談風景

台湾で開催される唯一の繊維関連国際見本市「台北テキスタイルフェア (TITAS)」に、昨年に続き桐生市ブースを設置し、市内企業とともに出展しました。

これまで3度の出展を経て、桐生市が日本有数の繊維産業集積地であり、高度かつ先進的な技術を有する企業が多数存在していることが、台湾で徐々に認知されています。

こうした継続的な取り組みにより、市ブースでは過去最多の商談が行われ、複数の案件が成約に結び付くなど具体的成果に繋がっています。

会期中には市長が会場を訪れ、出展社を激励するとともに、現地メディアや関係機関を通じ織都桐生を大いにPRしてきました。

<開催概要>

期間=平成28年10月17日(月)~19日(水)
 場所=台北世界貿易中心南港展覧館(台北市)
 総来場者=35,000人(前回34,000人)
 市ブース来場者=1,200人
 出展企業=4社、製品のみ出品3社
 商談件数=92件(商談成立3件、試作依頼10件、その他79件)

「第82回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2016」出展

パーソナルギフトと生活雑貨の分野における国内最大級の国際見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に桐生市ブースを設置し、市内企業とともに出展しました。

この見本市には、日本のみならず多数の海外バイヤーも来場することから、国内からの効果的な海外向け情報発信機会となりました。

<開催概要>

期間=平成28年9月7日(水)~9日(金)
 場所=東京ビッグサイト(東京都港区)
 出展フェア=生活雑貨フェア
 総来場者=189,023人
 市ブース来場者=1,045人(うち海外21人)
 出展企業=7社
 商談件数=204件(商談成立2件、試作依頼45件、その他157件)



桐生市ブース全景

市内企業の海外販路開拓支援に取り組んでいます

市では、成長著しい東アジア経済圏の活力を取り込むため、平成25年度より海外販路開拓支援事業を実施しています。平成28年度には次の3事業に取り組み、市内産業の持つ強みを海外に向けて発信しました。

今後も台湾を始めとした東アジア経済圏の市場開拓を通じ、市内産業の振興を目指します。

問い合わせは、産業政策課産業政策係(☎内線582)へ。



「台湾雲林県諸都市との友好連携に関する覚書」に基づく実務連携会議



財団法人紡織産業総合研究所で雲林県との連携法を提案する市長

平成27年10月22日、台湾雲林県諸都市との間で、産業経済分野を核とした「友好連携に関する覚書」を取り交しました。これは、繊維産業を基幹産業とし歴史的建造物が多数存在する点や、群馬大学協定校が存在する点など、多くの共通点を持つことを契機としており、双方地域の強みを活かしながら共に発展を目指そうとするものです。この趣旨に基づいて本格的な交流事業を実現させるため、双方地域の産業界を交えた連携会議を開催しました。

会議では、双方地域の企業間交流支援策や、各都市の持つ魅力的な資源を双方向で情報発信することなどについて活発な意見交換が行われました。今後はこの会議内容に基づく本格交流事業を推進します。

<会議概要>

開催日=平成28年10月20日(木)
 開催場所=麥寮晷陽緑能園区(雲林県麥寮郷)、台塑関係企業麥寮管理部(雲林県麥寮郷)、財団法人紡織産業総合研究所雲林分部(雲林県斗六市)
 参加機関=桐生市、桐生市議会、桐生商工会議所、群馬大学、北関東産官学研究会、桐生市内企業2社、雲林県、斗六市、古坑郷、麥寮郷、北港鎮、虎尾鎮(覚書参加都市)、財団法人紡織産業総合研究所、国立虎尾科技大学、台湾区毛巾工業同業公会、雲林県内企業6社



台湾企業との連携・今後の展望などを紹介する市内企業



桐生市と雲林県の連携などについて意見交換を行う様子